

(一社) 日本造園学会北海道支部主催ランドスケープ研究会

ワークショップ：芸術をランドスケープにする

趣旨

まちづくり、テーマガーデン、博物館施設、舞台装置などのデザインにおいて、地域独自の文化や芸術作品は発想の宝庫です。ところが、表現活動における文化と独創の両立は古くて新しい問題であり、いまだに確固とした方法がありません。

このワークショップを通じて、ともすれば非科学的とされ、それゆえ文化とも主観ともされてきた「美」を無理なくデザイナー個々人の創作活動に取り入れ、文化と独創の両立したデザイン発想を行えるようになりましょう。

ワークショップ

音楽、現代詩、小説といった視覚以外の芸術作品を取り上げ、作品の読解によってデザインを発想し、アイデアスケッチを行う方法を解説します。例としてクラシック音楽や現代詩、小説などを使います。

この技法の特徴

- ・簡単
- ・歴史、文化、芸術などが反映されたデザインになり、かつ、わざとらしくならない
- ・デザイナー自身の発想が誘発され、創造的なデザインになる
- ・でき上がったデザインに、ユーザー個々人が自分なりの思いを育むことができる
- ・クライアントやユーザーに説明しやすい

対象者

造園をはじめ建築、土木、インテリアなど住環境全般をデザインする実務者と学生、文化に関係する実務者、研究者。視覚以外の表現に携わる者（音楽、文学など）

開催日時 2024年 4月27日土曜日 13:30~15:30

5月4日土曜日 10:00~12:00 同内容で二回開催

参加費：資料代、場所代含めお一人¥1,000（お茶、お菓子付き）

場所：(有)風土計画舎（小樽市入船 4-5-3、電話 0134-23-1309）

その他 造園 CPD：2単位（申請予定）

実施結果は本年度の北海道支部研究発表会で発表・報告予定です

ご参加ご希望の方は上記アドレス Atelierpiano@gmail.com にメール下さい

講師紹介



昭和42年生、建設コンサルタント勤務のちフリーランスで公園緑地、庭園、博物館展示企画設計を行う。この間北海道教育大学、北海道環境専門学校、ヒューマンアカデミーで非常勤講師（森林緑地計画論、社会行政論、造園緑地学、CGデザイン担当）。造園と文化の研究で北海道大学より博士（文学）。（有）風土計画舎代表取締役。著書『名付けえぬ風景をめざして』（北大出版会）等、論文多数。社寺境内の活用を考える「鎮守の森コミュニティ研究所」特別研究員

「鎮守の森コミュニティ研究所」特別研究員